

2023 年度

兵庫医科大学大学院
(神戸キャンパス)

学 生 募 集 要 項

I 期・II 期入試

※ 医療科学研究科は I 期入試のみ実施予定

博士
課程

薬学研究科

修士
課程

看護学研究科

医療科学研究科

(リハビリテーション科学領域)



兵庫医科大学

建学の精神

学校法人兵庫医科大学は、
次の三つの大きな礎石を「建学の精神」としている。

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解

個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続きに当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、①入学試験実施（出願処理・試験実施）②合格発表 ③入学手続きおよび、これらに付随する業務以外には使用しません。

その他、個人情報保護に関する法規に基づき、可能な限り厳重なセキュリティー対策を施します。

問い合わせ先 兵庫医科大学（神戸キャンパス） 神戸教学課 大学院係

〒650-8530 神戸市中央区港島1丁目3番地6

TEL (078) 304-3014（直通）

E-mail : daigakuin@ml.hyo-med.ac.jp

目 次

兵庫医科大学大学院(神戸キャンパス) 入学試験概要	1
薬学研究科	2
アドミッションポリシー・募集人員・出願資格・日程・各種書類の提出先・ 出願手続き・試験日・試験会場・選抜方法・入学資格審査申請・ 身体的に支障または障がいをする者の出願・試験当日の注意事項・ 合格者発表・入学手続き等	
薬学研究科概要	8
担当教員の連絡先	12
授業科目一覧	13
看護学研究科	14
アドミッションポリシー・募集人員・出願資格・日程・各種書類の提出先・ 出願手続き・試験日・試験会場・選抜方法・入学資格審査申請・ 身体的に支障または障がいをする者の出願・試験当日の注意事項・ 合格者発表・入学手続き等	
看護学研究科概要	19
担当教員の連絡先	21
授業科目一覧	22
医療科学研究科(リハビリテーション科学領域)	23
アドミッションポリシー・募集人員・出願資格・日程・各種書類の提出先・ 出願手続き・試験日・試験会場・選抜方法・入学資格審査申請・ 身体的に支障または障がいをする者の出願・試験当日の注意事項・ 合格者発表・入学手続き等	
医療科学研究科概要	28
担当教員の連絡先	29
授業科目一覧	30
試験会場アクセス	33

出願書類一式 (本学ホームページよりダウンロードの上、両面印刷にてご使用ください)

兵庫医科大学ホーム>学部・大学院>大学院>入学案内(大学院)>大学院入学試験 募集要項

<https://www.hyo-med.ac.jp/faculty/graduate/admission/requirements/>



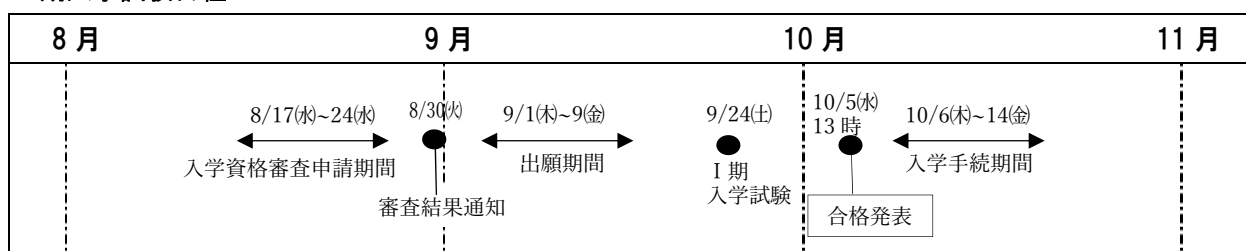
兵庫医科大学大学院(神戸キャンパス)入学試験概要

I 期

I 期入学試験対象

時 期	対象研究科	対象専攻	募集人員
I 期	薬 学 研 究 科	医療薬学専攻	3 名
	看護学研究科	看護学専攻	8 名
	医療科学研究科	医療科学専攻	8 名

I 期入学試験日程

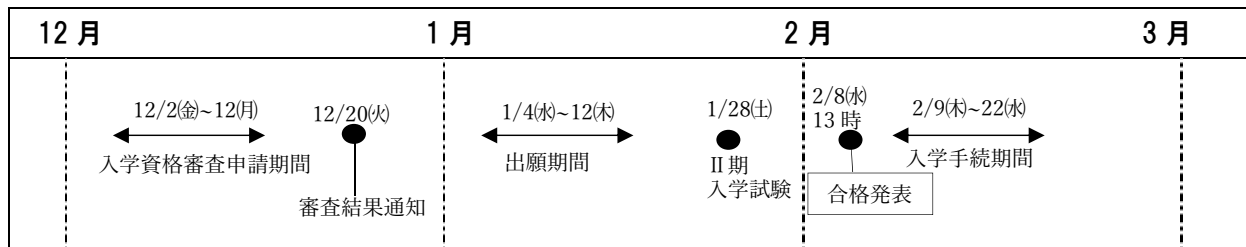


II 期

II 期入学試験対象

時 期	対象研究科	対象専攻	募集人員
II 期	薬 学 研 究 科	医療薬学専攻	若干名
	看護学研究科	看護学専攻	若干名

II 期入学試験日程



事情により入試日程に変更が生じる場合は、ホームページ上でお知らせします。

薬学研究科（Ⅰ期・Ⅱ期）

アドミッション・ポリシー（入学受入れの方針）

本研究科の理念に共感し、高度な研究能力を有する医療専門職者、そして医療薬学の問題を解決したいと願う薬学研究者を目指す以下のような人材を求めます。

1. 高度な研究能力を獲得する基盤となる薬学に関する基礎知識を有する人。
2. 薬学に関する最先端の情報を獲得するために必要な外国語の能力を有する人。
3. 医療の現場における問題点を明確化し、それを解決する研究能力を身につけたいという意欲を有する人。

入試との連関

1. 専門科目：高度な研究能力を獲得する基盤となる薬学に関する基礎知識を判定する。
2. 外国語：薬学に関する最先端の情報を獲得するために必要な外国語の能力を判定する。
3. 面接：医療の現場における問題点を明確化し、それを解決する研究能力を身につけたいという意欲を持っているかどうかについて判定する。

募集人員

Ⅰ期	3名
Ⅱ期	若干名

出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- ①大学の医学、歯学又は修業年限が6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程を卒業した者（入学日前月の末までに卒業見込みである者を含む）
- ②修士の学位又は専門職学位を有する者（入学日前月の末までに学位取得見込みである者を含む）
- ③外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（入学日前月の末までに学位授与見込みである者を含む）
- ④外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は医学、歯学、薬学又は獣医学）を修了した者（入学日前月の末までに修了見込みである者を含む）
- ⑤文部科学大臣の指定した者
- ⑥研究科において、個別の入学資格審査により、第1号又は第2号に定める者と同等以上の学力があると認めた者で、入学日前月の末までに24歳に達した者

日程

	Ⅰ期	Ⅱ期
試験日	2022年9月24日（土） （予備日25日（日））※2	2023年1月28日（土）
出願期間	2022年9月1日（木）～9月9日（金）	2023年1月4日（水）～1月12日（木）
入学資格審査 申請期間 ※1	2022年8月17日（水）～8月24日（水）	2022年12月2日（金）～12月12日（月）
合格者発表	2022年10月5日（水） 13時	2023年2月8日（水） 13時
入学手続き期間	2022年10月6日（木）～10月14日（金）	2023年2月9日（木）～2月22日（水）

※1 出願資格⑥により出願を希望する者は、事前に入学資格審査を受ける必要があります。

※2 Ⅰ期のみ、台風等の警報・自然災害により試験を実施できない場合は、翌日の日曜日に実施します。

各種書類の提出先

〒650-8530

神戸市中央区港島1丁目3番地6

兵庫医科大学（神戸キャンパス） 神戸教学課 大学院係宛

出願手続き

1 出願期間

I 期	2022 年 9 月 1 日（木）～9 月 9 日（金）【必着】
II 期	2023 年 1 月 4 日（水）～1 月 12 日（木）【必着】

出願期間内に必着するように、郵送または持参してください。

持参の場合には受付時間は土日祝日を除く平日 9:00～17:00 とします。

2 出願書類等

該当する学歴に応じて必要な書類ならびに共通の必要書類を準備してください。

・共通の必要書類

必 要 書 類		摘 要
①	入学願書	本研究科所定の用紙（様式 1）
②	志望理由書	本研究科所定の用紙（様式 2）
③	受験票・名票・ 「振込証明書(大学提出用)」貼付票	本学所定の用紙 上半身、脱帽、正面、3 ヶ月以内に撮影した写真を所定の欄に貼り付けてください。
		入学検定料 30,000 円を払込んでください。（出願期間の 2 週間前よりお振込いただけます。） 「振込証明書(大学提出用)」あるいは ATM 利用明細を貼付票に貼り付けてください。インターネットバンキング利用の場合、振込明細を印刷し、出願書類に同封してください。
④	返信用宛名ラベル用紙	本学所定の用紙 3 通分に郵便番号、住所、氏名を記入したもの。 入学試験合格者に対して、入学手続き書類等を送付するために使用します。
⑤	受験票返送用封筒	受験票送付の際に使用します。 定型封筒(長形 3 号)に郵便切手 334 円（速達料金）を貼り、受験票を確実に受け取れる郵便番号・住所・氏名を記入してください。

・6年制薬学部卒業(見込)者の必要書類

必 要 書 類		摘 要
⑥	薬学部成績証明書	出身大学の学校長が作成し、*厳封したもので発行日から 6 ヶ月以内のもの。本学卒業見込者は不要です。
⑦	薬学部卒業（見込）証明書	出身大学の学校長が作成し、*厳封したもので発行日から 6 ヶ月以内のもの。本学卒業見込者は不要です。

・旧課程4年制薬学部卒業生（平成17年度以前の入学者）の必要書類

必 要 書 類		摘 要
⑥	薬学部成績証明書	出身大学の学校長が作成し、※厳封したもので発行日から6ヵ月以内のもの。
⑦	大学院修士課程成績証明書	該当する者のみ。 出身大学院の学校長が作成し、※厳封したもので発行日から6ヵ月以内のもの。
⑧	修士の学位証明書	該当する者のみ。
⑨	出願資格認定書の写し	入学資格審査を経て出願する者のみ提出すること。

・修士課程修了見込者の必要書類

必 要 書 類		摘 要
⑥	修士課程成績証明書	出身大学の学校長が作成し、※厳封したもので発行日から6ヵ月以内のもの。
⑦	修士課程修了見込証明書	

※証明書の厳封について 偽造・複写防止用紙の場合は厳封不要。

3 出願方法

出願書類をとりまとめ、角2の封筒により「書留速達郵便」で送付してください。
「封筒貼付用宛先用紙」（本学所定の用紙）に必要事項を記入の上、封筒の表に貼り付けてください。

4 受験希望分野の担当教員との事前相談

出願者は受験希望分野の担当教員と事前に必ず連絡を取り、博士課程において取り組みたい研究内容について相談してください。

その場合、神戸教学課 大学院係（電話 078-304-3014）まで連絡するか、あるいはメールにて教員と直接連絡をとってください。担当教員のメールアドレスは12ページを参照してください。

長期履修制度については担当教員に相談の上、「長期履修申請書」（本学所定の用紙）を出願書類に同封してください。

5 出願上の留意事項

- ・出願書類が不備な場合には、受理しません。
- ・出願書類に虚偽があった場合には、入学後であっても入学を取り消す場合があります。
- ・いったん提出された書類および入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・書類が受理されたときは、受験票を速達郵便で送付します。
- ・受験票を受け取ったら、ご自身のものであるか必ず確認してください。
- ・試験日の2日前になっても受験票が届かない場合は、神戸教学課 大学院係（078-304-3014）に電話をして指示を受けてください。

試 験 日

I 期	2022 年 9 月 24 日（土）（予備日 25 日（日））※
II 期	2023 年 1 月 28 日（土）

※I期のみ、台風等の警報・自然災害により試験を実施できない場合は、翌日の日曜日に実施します。
当該日程での試験中止および予備日を適用する場合は、9月22日(木)15時までに本学ホームページにて通知します。

試験会場

本学（神戸キャンパス）（巻末参照）

選抜方法

試験科目	試験時間
外国語(英語)	10:00～11:00 (60 分)
専門科目	11:30～12:30 (60 分)
面接	13:20～

注）外国語(英語)の試験には、英語の辞書（ただし、電子辞書を除く）1冊の持ち込みを認めます。

入学資格審査申請

出願資格⑥により出願を希望する者は、出願前に審査が必要なので、次の必要書類を取り揃えて提出してください。

(1) 必要書類

	必要書類	摘 要
①	入学資格審査申請書	本研究科所定の用紙（様式3）
②	出願資格認定審査結果通知用封筒	定型封筒（長形3号）に郵便切手779円（書留速達料金）を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記したもの。

(2) 受付期間

I 期	2022年8月17日（水）～8月24日（水）【必着】
II 期	2022年12月2日（金）～12月12日（月）【必着】

申請期間内に必着するように、郵送または持参してください。郵送の場合には、封筒の表に「入学資格審査申請書在中」と朱書きし、必ず書留速達郵便としてください。

持参の場合には、受付時間は土日祝日を除く平日9:00～17:00とします。

(3) 認定結果の通知

審査の結果は、下記の日程までに申請者宛に通知します。

I 期	2022年8月30日（火）
II 期	2022年12月20日（火）

身体的に支障または障がいを持つ者の出願

身体的に支障または障がいを持つ入学志願者で、受験上および修学上特別な配慮を希望する者は、原則として、各試験の1か月前までに神戸教学課 大学院係（078-304-3014）へご相談ください。なお、専門医の診断書等障がいの程度を示す書類を送付していただく場合があります。

試験当日の注意事項

- ・試験当日は試験開始 15 分前（9 時 45 分）までに必ず入室してください。試験開始後 30 分以上の遅刻は認めません。
- ・受験票を忘れた場合は、受験室に入室する前に受付に申し出て、「仮受験票」の発行手続きをしてください。
- ・受験室内では試験監督者の指示に従ってください。また、不正行為とみなされる態度があった場合は、退室を命じ、全科目を無効とします。
- ・試験時間の途中で退出することはできません。
- ・筆記用具は、HB または B の黒鉛筆（シャープペンシルでも可）とプラスチック消しゴムに限ります。
- ・下敷・定規・コンパス・計算機（電卓など）、および計算・辞書機能などの付いた時計の使用は認めません。
- ・携帯電話や音の出る機器は、受験室に入る前に必ずアラーム設定を解除のうえすべて電源を切り、カバンに収納してください。携帯電話を時計代わりにすることは認めません。
- ・試験会場周辺道路は、全面駐車禁止のため公共の交通機関を利用してください。

合格者発表

I 期	2022 年 10 月 5 日（水） 13 時
II 期	2023 年 2 月 8 日（水） 13 時

- ・本学ホームページ上（<https://www.hyo-med.ac.jp/>）に合格者受験番号を掲示します。
- ・学内掲示は行いません。
- ・合格者へは、合格通知書および入学手続き書類を**書留速達郵便**で送付します。
- ・不合格の通知は送付しません。
- ・電話・郵便等による可否の問い合わせには応じません。

入学手続き等

1 入学手続き期間

I 期	2022 年 10 月 6 日（木）～10 月 14 日（金）【必着】
II 期	2023 年 2 月 9 日（木）～2 月 22 日（水）【必着】

2 手続き方法

入学金および授業料（前期分）を、所定の振込用紙で振り込み、入学手続き書類を書留速達郵便で送付してください。全ての入学手続きを完了した者には入学許可書を送付します。

3 納付金

- (1) 入 学 金 100,000 円
- (2) 授 業 料 200,000 円（前期分）
- (3) 教育充実費 50,000 円（前期分）

※上記金額以外に学外実習に関する費用を個別に徴収する場合があります。

※本学（旧 兵庫医療大学を含む）出身者および、学校法人兵庫医科大学の教職員として通算 5 年以上の勤務実績のある者については、入学金を免除します。

※後期分の授業料 200,000 円および教育充実費 50,000 円は、本学所定の振込用紙により、入学した年の 10 月以降に納付して頂くことになります。

※長期履修制度利用者は、個々に履修年限に応じた金額を通知します。

4 提出書類等

入学手続きに必要な書類やその他詳細については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

なお、社会人として病院等に在職したまま就学しようとする者は、所属長の「就学承諾書」(様式自由)の提出が必要となります。

※上記の期限までに入学手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

5 入学辞退をする場合

入学手続きを完了した者で入学を辞退する場合、2023 年 3 月 31 日(金)午後 5 時までに本学所定の入学辞退届および入学許可書を添えて提出した者は、入学金を除いた学納金の返還を請求することができます。ただし、一旦提出された入学手続書類は返還しません。上記期限以降に辞退した場合、入学手続書類および納付金は一切返還しません

教育目的

- ①薬剤師業務の質向上と変革を推進するために不可欠な高度研究能力、すなわち臨床現場における問題点を発見し、それを解決するために適切な研究計画を立案し、その成果を論文化できる能力を涵養する。
- ②医療薬学における問題点を基礎薬学の視点から眺め、それを解決しうる基礎的・実験的研究課題を自ら設定し、新しい薬剤・製剤・臨床適応の開発に発展できる能力を涵養する。

教育課程

薬学研究科では、専門基礎科目、専門演習科目、研究指導科目の3つの科目で構成されています。
専門演習科目は16科目、研究指導科目は12分野から構成されています。

科目名	
薬学 専門基礎科目	必修科目 「先端医薬学特論Ⅰ」、「先端医薬学特論Ⅱ」、「先端医薬学特論Ⅲ」、「先端医薬学特論Ⅳ」
薬学 専門演習科目	選択科目 「医薬品創製科学演習Ⅰ」、「医薬品創製科学演習Ⅱ」、 「免疫病態制御学演習Ⅰ」、「免疫病態制御学演習Ⅱ」、 「神経薬理・薬物治療学演習Ⅰ」、「神経薬理・薬物治療学演習Ⅱ」、 「微生物学演習Ⅰ（基盤的微生物学演習）」、「微生物学演習Ⅱ（先進的微生物学演習）」、 「分子毒性学・レドックス生物学演習Ⅰ」、「分子毒性学・レドックス生物学演習Ⅱ」、 「医薬品適正治療科学演習Ⅰ（分子薬物動態学演習）」、 「医薬品適正治療科学演習Ⅱ（臨床ゲノム薬理学演習）」、 「応用医療薬学演習Ⅰ」、「応用医療薬学演習Ⅱ」、 「呼吸器疾患病態治療学演習Ⅰ」、「呼吸器疾患病態治療学演習Ⅱ」
薬学 研究指導科目	必修科目 「医療薬学特別研究」
	分野 臨床ゲノム薬理・分子薬物動態学 医薬品の個別化適正投与を目指し、臨床ゲノム薬理学と分子薬物動態学を基盤とした以下のテーマに関する研究指導を行います。研究テーマの主題は「個の医療の確立」で、ゲノム薬理学、分子薬理学、分子薬物動態学、数理解析学を駆使した研究が主体となります。 ①薬物代謝酵素群および薬物標的分子をターゲットとする臨床ゲノム薬理学の確立および診断ツールの開発 ②アポトーシス誘導型抗がん剤の分子薬物動態を基盤にした、テーラーメードがん治療への挑戦 ③疾病等による薬物代謝酵素活性変動の分子メカニズム解明と臨床現場への還元 ④より有効かつ安全な癌化学療法を目指した抗がん剤耐性機構の解明と抗がん剤感受性因子の探索
	名 天然薬物学 海洋生物や薬用植物などの天然由来資源から、医薬シーズとなる化合物を最新の知見をもとに開発したスクリーニング評価系を用いて探索します。見いだした生理活性化合物については、作用の解析や化学誘導による最適化など医薬品シーズとしての展開を図り、臨床適用可能な医薬リード化合物の開発を目指します。 ①PCA-1を標的とする分子標的抗がん剤リード化合物の探索研究 ②抗がん剤開発を指向した腫瘍血管新生阻害物質の探索研究 ③抗がん剤耐性克服物質の探索と耐性に関わる作用機序の解明研究 ④知覚神経系に作用する新規鎮痛物質の探索研究

科 目 名		
薬学 研究指導科目	分野名	応用医療薬学 医療における薬剤師の職能拡大を視野に入れ、特に薬剤投与に関する様々な問題点を明らかにし、その解決に必要なシステムやデバイスの研究開発や薬物療法の個別最適化を目指した研究を行います。また、セルフメディケーション・セルフケアに関連する研究も行います。具体的には以下に示す研究テーマに取り組み、薬剤師の社会的地位の向上を目指した研究を推進していきます。 ①自己注射（インスリン、成長ホルモンなど）の補助器具に関する研究 ②デバイスの違いが薬剤投与に与える影響に関する研究 ③薬剤投与における個別化医療に関する研究 ④薬学投与におけるママ・パパサポートに関する研究 ⑤セルフメディケーションにおける地域薬剤師の役割に関する研究
		免疫制御学 がんや慢性炎症を克服するための新しい免疫制御法の開発を目指した研究を指導します。具体的には、免疫学および関連する細胞生物学や分子生物学などの手法を用いて、以下のテーマに取り組み、研究の立案と実施および研究成果の論文発表等に必要能力を養います。 ①免疫抑制性がん微小環境の形成とその制御に関する研究 ②がん幹細胞の同定とその免疫学的な制御に関する研究 ③炎症反応の免疫学的制御に関する研究 ④様々な疾患におけるサイトカインの役割に関する研究
		レドックス生物学 活性酸素を健康作りに活用するための研究です。 活性酸素分子種はフリーラジカルとして生体に酸化ストレスをもたらすのみならず、シグナル分子として細胞内情報伝達に関与し、生体の調節機構に重要な役割を担っています。分泌型スーパーオキシドジスムターゼは細胞表面の糖衣構造に親和性をもつ糖タンパク質です。分子生物学的手法を用いて変異を導入した組み換え形タンパク質を作製し、一次構造と酵素の分布に関する知見を積み重ね、活性酸素代謝を作用点とする創薬への応用を目指しています。 ①抗酸化酵素（特に分泌型スーパーオキシドジスムターゼ）による活性酸素代謝の生理的役割に関する研究 ②タンパク質の糖鎖修飾と細胞内分布に関する研究
		神経病態制御学 慢性難治性疼痛や虚血性神経障害などの神経系における病態について、分子生物学的、電気生理学的、行動薬理学的手法を用いて解析を行い、その発生機序を解明するとともに、薬物による病態制御法の開発と臨床応用に向けてのシーズ探索を行います。 ①痛覚伝達系における疼痛関連受容体の機能調節に関する研究 ②痛覚伝達系における神経活性物質の発現調節に関する研究 ③慢性難治性疼痛発生と治療の分子メカニズム解明に関する研究 ④慢性難治性疼痛に対するシーズ探索に関する研究 ⑤虚血性神経障害の病態解析と治療法開発に関する研究 ⑥神経伝達障害の病態解析と認知症治療法開発に関する研究 ⑦神経疾患における漢方治療の効果とメカニズム解析に関する研究

科 目 名		
薬学 研究指導 科目	分野名	医薬品化学 新規医薬品の開発とそれを支える基盤新技術の構築を目指して、次世代型薬化学研究を行います。有機化学的・物理化学的手法や方法論を駆使して、有機合成化学、触媒化学、医薬品化学、創薬化学を高度化するための研究指導を行います。以下に示す研究テーマに取り組み、高度な研究能力を養います。 ①環境に調和適合したカスケード型有機合成反応の開発に関する研究 ②新規ラジカル反応の開発とその立体制御に関する研究 ③新規な固体触媒や分子触媒の創製とその構造・機能評価に関する研究 ④触媒的酸化還元反応の開発とその反応機構の解明に関する研究 ⑤生物活性化合物の合成と新規医薬品のシーズ創出に関する研究 ⑥不安定な反応活性種の動的変化の追跡と反応制御に関する研究 ⑦生理活性物質の生体内ダイナミクスの解析に有用な蛍光プローブの開発に関する研究 ⑧蛍光プローブの開発に資する新規蛍光色素の創製に関する研究
		創薬化学（2023 年度以降学生募集しません） 製薬企業での創薬研究活動を基本とし、ADME 等も考慮した試薬開発ではない“薬”の探索合成を行います。また、独自に開拓してきたアフィニティ樹脂を用いた生理活性物質のターゲット探索に関する基盤技術を活用し、新規創薬ターゲット探索および生理活性物質のターゲット探索を行います。 ①新規抗がん剤の探索合成に関する研究 国内外研究機関・企業と連携し創薬化学を実践する ②生理活性物質のターゲット探索に関する研究 ターゲット未知の開発（候補）品のターゲット探索等を行う ③その他創薬開発に関する研究
		臨床医薬品化学 「臨床」における「医薬品」に対して、「化学」を基盤とした研究を行います。実験を中心とした Wet 研究、データ解析を中心とした Dry 研究の実施が可能です。Wet 研究では、既存薬や既存薬の代謝物を新たな医薬品へと展開するドラッグリポジショニング、既存薬をシード化合物とした探索合成研究を展開します。さらに、2022 年度からは、有機反応開発の研究も行います。 Dry 研究では、JADER および FAERS を用いた医薬品有害事象データベース研究を行っています。さらに、データベース解析から得られた情報を基にした臨床研究へと展開したいと考えています。また、薬剤師の質向上を目指した薬学教育研究も展開しています。 ①膠芽腫に対するドラッグリポジショニング研究（Wet 研究） ②抗がん薬による心毒性発症傾向の解析および予防薬の開発（Dry & Wet 研究） ③化学的な視点を基にした医薬品有害事象データベースを用いた種々の医薬品の有害事象解析（Dry 研究） ④コバルトなどの金属を用いた有機反応開発（Wet 研究） ⑤化学の臨床活用を目指した薬剤師教育プログラムの開発（Dry 研究） ⑥薬剤師・薬学生の医学文献評価能力向上に向けた教育プログラムの開発（Dry 研究） ⑦その他、薬学教育研究（Dry 研究）

科 目 名		
薬学 研究指導科 目	分 野 名	微生物・寄生体学 感染症の制御を目指し、血液感染症および新興再興感染症を中心に、薬理学的、免疫学的、分子生物学的手法を主に用いて、感染機構の解明、薬剤感受性／耐性機構の解明、診断法、治療法、予防法の確立に関わる研究、ならびに疫学調査研究を行います。主な研究テーマは以下のとおりです。 ①病原体の感染性、病原性に関与する細胞内情報伝達機構の解明に関わる研究 ②病原体の薬剤感受性／耐性機構の解明に関わる研究 ③薬剤耐性獲得病原体の薬剤感受性回復誘導に関わる研究 ④新興再興感染症の診断、治療、予防に関わる臨床的研究 ⑤新興再興感染症の流行の実態解明に関わる分子疫学的研究
		微生物制御学 感染症や微生物汚染・微生物劣化を招く有害微生物を分離同定し、性状調査や疫学的調査を行います。薬剤に耐性を示す有害微生物については、その耐性メカニズムを解明します。これらの情報を元に有害微生物の制御方法を提案、実施し、その効果を微生物学的、生化学的、分子生物学的方法を含む手法で評価します。評価結果に基づき、制御方法の改善に取り組み、新規微生物制御方法を開発します。 ①有害微生物の分離同定・性状調査に関する研究 ②有害微生物の疫学的調査に関する研究 ③有害微生物の薬剤耐性メカニズムに関する研究 ④環境調和型の新規微生物制御技術の開発に関する研究
		呼吸器疾患病態治療学 高齢化社会や喫煙・大気汚染・アスベスト曝露などの環境要因から、現代社会では肺癌・悪性中皮腫などの呼吸器悪性腫瘍、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、アレルギー性疾患である気管支喘息、難治性呼吸器疾患である間質性肺炎・肺線維症、呼吸器感染症である肺炎・肺結核など多岐にわたる呼吸器疾患は、増加の一途にあります。しかしながらそれらの病態や治療法は十分に解明・確立されず、まだまだ未知の領域です。本研究指導科目分野では、（１）臨床応用可能なバイオマーカーの確立、（２）病態メカニズムの解明や（３）新規治療法の開発などを目指して、細胞やマウスなどの動物を用いた基礎研究や臨床研究を行い、研究能力を養成します。そしてその研究成果を学会発表や論文発表して、学位取得できるように指導いたします。

担当教員の連絡先

事前相談はまず下記の担当教員にアポイントを取った上で実施してください。

研究指導科目分野	担 当 教 員	連 絡 先
臨床ゲノム薬理・分子薬物動態学	南 畝 晋平	nonen@hyo-med.ac.jp
	高良 恒史	ko-takara@hyo-med.ac.jp
天然薬物学	青木 俊二	aoki@hyo-med.ac.jp
	岩岡 恵実子	miiwaoka@hyo-med.ac.jp
応用医療薬学	藤野 秀樹	h-fujino@hyo-med.ac.jp
	木下 淳	at-kinoshita@hyo-med.ac.jp
	上田 寛樹	ueda@hyo-med.ac.jp
	村上 雅裕	aoyui@hyo-med.ac.jp
	伊藤 都裕	ito-s@hyo-med.ac.jp
免疫制御学	田中 稔之	tanaka@hyo-med.ac.jp
	上田 晴康	ueda-ph@hyo-med.ac.jp
	大野 喜也	y.ohno@hyo-med.ac.jp
レドックス生物学	大河原 知水	biochook@hyo-med.ac.jp
	三浦 大作	d_miura@hyo-med.ac.jp
	小渕 修平	kobuchi-s@hyo-med.ac.jp
神経病態制御学	山本 悟史	syamamot@hyo-med.ac.jp
	北中 純一	kitanaka@hyo-med.ac.jp
	田中 康一	koh-tanaka@hyo-med.ac.jp
	大谷 佐知	sachik@hyo-med.ac.jp
医薬品化学	宮部 豪人	miyabe@hyo-med.ac.jp
	甲谷 繁	kohtani@hyo-med.ac.jp
	塚本 効司	kotukamoto@hyo-med.ac.jp
	吉岡 英斗	e.yoshioka@hyo-med.ac.jp
創薬化学	田中 明人	(2023 年度以降学生募集しません)
臨床医薬品化学	清水 忠	shimizu-t@hyo-med.ac.jp
微生物・寄生体学	長野 基子	nagano-fujii@hyo-med.ac.jp
	西田 喜平次	nishidak@hyo-med.ac.jp
微生物制御学	前田 拓也	maedat@hyo-med.ac.jp
呼吸器疾患病態治療学	田端 千春	ctabata@hyo-med.ac.jp

連絡先等を必ず明記のうえ、メールしてください。入学後の主たる指導教員は、事前相談時にある程度、決定することになりますが、入学後の課題テーマの最終決定の段階によって、変更することも可能です。

授業科目一覧

薬学研究科医療薬学専攻(博士課程)

科目区分	授 業 科 目	配当 年次	単位数	
			必修	選択
薬学 専門基礎科目	先端医薬学特論Ⅰ	1 前	1	
	先端医薬学特論Ⅱ	1 前	1	
	先端医薬学特論Ⅲ	1 後	1	
	先端医薬学特論Ⅳ	1 後	1	
薬学 専門演習科目	医薬品創製科学演習Ⅰ	1 通		4
	医薬品創製科学演習Ⅱ	2 通		4
	免疫病態制御学演習Ⅰ	1 通		4
	免疫病態制御学演習Ⅱ	2 通		4
	神経薬理・薬物治療学演習Ⅰ	1 通		4
	神経薬理・薬物治療学演習Ⅱ	2 通		4
	微生物学演習Ⅰ（基盤的微生物学演習）	1 通		4
	微生物学演習Ⅱ（先進的微生物学演習）	2 通		4
	分子毒性学・レドックス生物学演習Ⅰ	1 通		4
	分子毒性学・レドックス生物学演習Ⅱ	2 通		4
	医薬品適正治療科学演習Ⅰ（分子薬物動態学演習）	1 通		4
	医薬品適正治療科学演習Ⅱ（臨床ゲノム薬理学演習）	2 通		4
	応用医療薬学演習Ⅰ	1 通		4
	応用医療薬学演習Ⅱ	2 通		4
	呼吸器疾患病態治療学演習Ⅰ	1 通		4
	呼吸器疾患病態治療学演習Ⅱ	2 通		4
薬学 研究指導科目	医療薬学特別研究	1～4 通	18	

看護学研究科（Ⅰ期・Ⅱ期）

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

生命と人権を尊重し、医療・保健・福祉および社会の変動に対応し、創造的かつ科学的に看護が実践できる能力をもち、人々の健康と quality of life の向上および看護学の発展に寄与できる高度専門職業人、研究者、教育者、管理者を育成します。本研究科では、以下のような人材を求めます。

1. 主体的に学び、目標に向かって邁進できる人。
2. 看護専門職者として高度看護実践・看護学の発展に貢献する意欲を有する人。
3. 志望する専門分野に必要な基礎的知識と技術を有する人。
4. 国際的視野に立ち、柔軟な発想ならびに論理的思考で課題を探究する姿勢を有する人。
5. 倫理的な感受性と想像力をもって行動できる人。

入試との連関

1. 専門科目：志望する分野の専門的知識と専門分野の動向と現状の理解と課題を明確にできる能力を判定する。
2. 外国語：最新の知見を各種論文から読み取るための能力を判定する。
3. 面接：志望動機、学修準備状況、自主性、学習意欲、心構えを判定する。

募集人員

Ⅰ期	8名
Ⅱ期	若干名

出願資格

次の①を満たし、②以下のいずれかに該当する者

- ①看護師・保健師・助産師の免許のいずれかを有する者（入学日前月の末までに免許取得見込みである者を含む）
- ②大学を卒業した者（入学日前月の末までに卒業見込みである者を含む）
- ③大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者（入学日前月の末までに学位授与見込みである者を含む）
- ④外国において学校教育における16年の課程を修了した者（入学日前月の末までに修了見込みである者を含む）
- ⑤文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程を修了した者（入学日前月の末までに修了見込みである者を含む）
- ⑥文部科学大臣の指定した者
- ⑦研究科において、個別の入学資格審査により、第2号に定める者と同等以上の学力があると認めた者で、入学日前月の末までに22歳に達した者

日程

	Ⅰ期	Ⅱ期
試験日	2022年9月24日（土） （予備日25日（日））※2	2023年1月28日（土）
出願期間	2022年9月1日（木）～9月9日（金）	2023年1月4日（水）～1月12日（木）
入学資格審査 申請期間 ※1	2022年8月17日（水）～8月24日（水）	2022年12月2日（金）～12月12日（月）
合格者発表	2022年10月5日（水） 13時	2023年2月8日（水） 13時
入学手続き期間	2022年10月6日（木）～10月14日（金）	2023年2月9日（木）～2月22日（水）

※1 出願資格⑦により出願を希望する者は、事前に入学資格審査を受ける必要があります。ただし、本学（旧兵庫医療大学を含む）の職業実践力育成プログラム（BP）の地域在宅看護実践力育成プログラムを修了した者（修了見込者を含む）については、あらかじめ出願資格があるものと認め、個別の入学資格審査の手続きは不要とします。

※2 Ⅰ期のみ、台風等の警報・自然災害により試験を実施できない場合は、翌日の日曜日に実施します。

各種書類の提出先

〒650-8530

神戸市中央区港島 1 丁目 3 番地 6

兵庫医科大学（神戸キャンパス） 神戸教学課 大学院係宛

出願手続き

1 出願期間

I 期	2022 年 9 月 1 日（木）～9 月 9 日（金）【必着】
II 期	2023 年 1 月 4 日（水）～1 月 12 日（木）【必着】

出願期間内に必着するように、郵送または持参してください。

持参の場合には受付時間は土日祝日を除く平日 9：00～17：00 とします。

2 出願書類等

必 要 書 類		摘 要
①	入学願書	本研究科所定の用紙（様式 1）
②	志望理由書	本研究科所定の用紙（様式 2）
③	受験票・名票・ 「振込証明書(大学提出用)」貼付票	本学所定の用紙（共通出願書類） 上半身、脱帽、正面、3 ヶ月以内に撮影した写真を所定の欄に貼り付けたもの。 入学検定料 30,000 円を払込んでください。（出願期間の 2 週間前よりお振込いただけます。） 「振込証明書(大学提出用)」あるいは ATM 利用明細を貼付票に貼り付けてください。インターネットバンキング利用の場合、振込明細を印刷し、出願書類に同封してください。
④	返信用宛名ラベル用紙	本学所定の用紙 3 通分に郵便番号、住所、氏名を記入したもの。 入学試験合格者に対して、入学手続き書類等を送付するために使用します。
⑤	受験票返送用封筒	受験票送付の際に使用します。 定型封筒(長形 3 号)に郵便切手 344 円（速達料金）を貼り、受験票を確実に受け取れる郵便番号・住所・氏名を記入してください。
⑥	成績証明書	最終出身学校の学校長が作成し、*厳封したもので発行日から 6 ヶ月以内のもの。本学卒業見込者は不要です。
⑦	卒業、修了（見込）証明書	最終出身学校の学校長が作成し、*厳封したもので発行日から 6 ヶ月以内のもの。本学卒業見込者は不要です。
⑧	学士の学位証明書	学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出すること。
⑨	出願資格認定書の写し	入学資格審査を経て出願する者のみ提出すること。
⑩	免許証の写し	看護師、保健師、助産師のいずれかの中から取得しているもの。
⑪	長期履修申請書	教員に事前相談して申請許可を得た者のみ提出すること。
⑫	BP 履修証明書の写し	本学（旧 兵庫医療大学を含む）の職業実践力育成プログラム（BP）を修了した者のみ提出すること。

※証明書の厳封について 偽造・複写防止用紙の場合は厳封不要。

3 出願方法

出願書類をとりまとめ、角2の封筒により「書留速達郵便」で送付してください。
「封筒貼付用宛先用紙」（本学所定の用紙）に必要事項を記入の上、封筒の表に貼り付けてください。

4 受験希望分野の担当教員との事前相談

出願者は受験希望分野の担当教員と事前に必ず連絡を取り、修士課程において行いたい内容について相談してください。

その場合、神戸教学課 大学院係（電話 078-304-3014）まで連絡するか、あるいはメールにて教員と直接連絡をとってください。担当教員のメールアドレスは21ページを参照してください。

長期履修制度については担当教員に相談の上、「長期履修申請書」（本学所定の用紙）を出願書類に同封してください。

5 出願上の留意事項

- ・出願書類が不備な場合には、受理しません。
- ・出願書類に虚偽のあった場合には、入学後であっても入学を取り消す場合があります。
- ・いったん提出された書類および入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・書類が受理されたときは、受験票を速達郵便で送付します。
- ・受験票を受け取ったら、ご自身のものであるか必ず確認してください。
- ・試験日の2日前になっても受験票が届かない場合は、神戸教学課 大学院係（078-304-3014）に電話をして指示を受けてください。

試験 日

I 期	2022 年 9 月 24 日（土）（予備日 25 日（日））※
II 期	2023 年 1 月 28 日（土）

※ I 期のみ、台風等の警報・自然災害により試験を実施できない場合は、翌日の日曜日に実施します。
当該日程での試験中止および予備日を適用する場合は、9 月 22 日(木)15 時までに本学ホームページにて通知します。

試験 会 場

本学（神戸キャンパス）（巻末参照）

選 抜 方 法

試験科目	試験時間
外国語(英語)	10:00～11:00 (60 分)
専門科目	11:30～12:30 (60 分)
面接	13:20～

注) 外国語(英語)の試験には、英語の辞書（ただし、電子辞書を除く）1冊の持ち込みを認めます。

入学資格審査申請

出願資格⑦により出願を希望する者は、出願前に審査が必要なので、次の必要書類を取り揃えて、提出してください。ただし、本学（旧 兵庫医療大学を含む）の職業実践力育成プログラム（BP）の地域在宅看護実践力育成プログラムを修了した者または入学日前月の末までに修了見込みの者については、あらかじめ出願資格があるものと認め、個別の入学資格審査の手続きは不要とします。

(1) 必要書類

必 要 書 類		摘 要
①	入学資格審査申請書	本研究科所定の用紙（様式 3）
②	免許証の写し	看護師、保健師、助産師のいずれかの中から取得しているもの
③	出願資格認定審査結果通知用封筒	定型封筒（長形 3 号）に郵便切手 779 円（書留速達料金）を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記したもの。

(2) 受付期間

I 期	2022 年 8 月 17 日（水）～8 月 24 日（水）【必着】
II 期	2022 年 12 月 2 日（金）～12 月 12 日（月）【必着】

申請期間内に必着するように、郵送または持参してください。郵送の場合には、封筒の表に「入学資格審査申請書在中」と朱書きし、必ず書留速達郵便としてください。

持参の場合には、受付時間は土日祝日を除く平日 9：00～17：00 とします。

(3) 認定結果の通知

審査の結果は、下記の日程までに申請者宛に通知します。

I 期	2022 年 8 月 30 日（火）
II 期	2022 年 12 月 20 日（火）

身体的に支障または障がいをもつ者の出願

身体的に支障または障がいをもつ入学志願者で、受験上および修学上特別な配慮を希望する者は、原則として、各試験の 1 か月前までに神戸教学課 大学院係（078-304-3014）へご相談ください。なお、専門医の診断書等障がいの程度を示す書類を送付していただく場合があります。

試験当日の注意事項

- ・試験当日は試験開始 15 分前（9 時 45 分）までに必ず入室してください。試験開始後 30 分以上の遅刻は認めません。
- ・受験票を忘れた場合は、受験室に入室する前に受付に申し出て、「仮受験票」の発行手続きをしてください。
- ・受験室内では試験監督者の指示に従ってください。また、不正行為とみなされる態度があった場合は、退室を命じ、全科目を無効とします。
- ・試験時間の途中で退出することはできません。
- ・筆記用具は、HB または B の黒鉛筆（シャープペンシルでも可）とプラスチック消しゴムに限ります。
- ・下敷・定規・コンパス・計算機（電卓など）、および計算・辞書機能などの付いた時計の使用は認めません。
- ・携帯電話や音の出る機器は、受験室に入る前に必ずアラーム設定を解除のうえすべて電源を切り、カバンに収納してください。携帯電話を時計代わりにすることは認めません。
- ・試験会場周辺道路は、全面駐車禁止のため公共の交通機関を利用してください。

合格者発表

I 期	2022 年 10 月 5 日（水） 13 時
II 期	2023 年 2 月 8 日（水） 13 時

- ・ 本学ホームページ上 (<https://www.hyo-med.ac.jp/>) に合格者受験番号を掲示します。
- ・ 学内掲示は行いません。
- ・ 合格者へは、合格通知書および入学手続き書類を**書留速達郵便**で送付します。
- ・ 不合格の通知は送付しません。
- ・ 電話・郵便等による可否の問い合わせには応じません。

入学手続き等

1 入学手続き期間

I 期	2022 年 10 月 6 日（木）～10 月 14 日（金）【必着】
II 期	2023 年 2 月 9 日（木）～2 月 22 日（水）【必着】

2 手続き方法

入学金および授業料（前期分）を、所定の振込用紙で振り込み、入学手続き書類を書留速達郵便で下記あてに送付してください。全ての入学手続きを完了した者には入学許可書を送付します。

3 納付金

- (1) 入 学 金 100,000 円
- (2) 授 業 料 200,000 円（前期分）
- (3) 教育充実費 50,000 円（前期分）

※上記金額以外に学外実習に関する費用を個別に徴収する場合があります。

※本学（旧 兵庫医療大学を含む）出身者および、学校法人兵庫医科大学の教職員として通算 5 年以上の勤務実績のある者については、入学金を免除します。

※後期分の授業料 200,000 円および教育充実費 50,000 円は、本学所定の振込用紙により、入学した年の 10 月以降に納付して頂くことになります。

※長期履修制度利用者は、個別に履修年限に応じた金額を通知します。

4 提出書類等

入学手続きに必要な書類やその他詳細については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

なお、社会人として病院等に在職したまま就学しようとする者は、所属長の「就学承諾書」（様式自由）の提出が必要となります。

※上記の期限までに入学手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

5 入学辞退をする場合

入学手続きを完了した者で入学を辞退する場合、2023 年 3 月 31 日（金）午後 5 時までに本学所定の入学辞退届および入学許可書を添えて提出した者は、入学金を除いた学納金の返還を請求することができます。ただし、一旦提出された入学手続き書類は返還しません。上記期限以降に辞退した場合、入学手続き書類および納付金は一切返還しません。

教 育 目 的

本学大学院看護学研究科は、建学の精神に則り、真に人々にとって必要とされる看護学の専門的知識・技術を修得し、看護実践能力を強化して、社会の求めに応じて役割・機能を果たすことのできる看護専門職者を育成します。看護学研究科のモットーは、大学院生と教員・指導者とが学修の目標を共有し、一体となって学修を促進し、常に相互交流を通して互いに成長することを目指しています。

教 育 課 程

看護学研究科では、看護学基礎研究領域と看護学課題研究・高度実践領域（CNS）の2つの柱で構成されています。看護学基礎研究領域では4分野13特定分野から構成され、看護学課題研究・高度実践領域では、1分野2特定分野から構成されています。

修士課程 共通科目		選択科目 医療統計学特論、医療倫理学特論、先進医療支援特論
看護学 共通科目		選択科目 看護教育論、看護倫理、看護理論、看護管理論、看護政策論、コンサルテーション論、看護研究、看護研究演習、システマティックレビュー、アドバンスト・フィジカルアセスメント、臨床薬理学・薬物治療特論、疾病・病態特論
看護学 専門 科目	看護学 基礎 研究 領域	基礎看護学： ①看護の方向性を導く看護理論、看護実践の基盤を支える倫理観と人間相互関係、および科学的根拠（生理学的検証）に基づいた看護技術の検証、②看護の専門性に基づく技術に関する研究（皮膚排泄ケア・感染制御）など、看護実践を踏まえた基礎的研究能力を修得します。 看護教育学： 看護教育を基礎教育、卒後教育、継続教育という視点からとらえ、看護教育に関する諸理論と概念の理解を基に、その本質を探究し、課題を見極めていきます。看護ケアの質を高めるために必要な看護職への教育的働きかけ、教育環境づくり、教育方法の有効性等に関する知識と技術を追求し、看護教育における基礎的研究能力を修得します。 看護開発科学： 看護実践と研究のギャップを埋める EBHC（Evidence-based health care）について深く学ぶ分野です。EBHC の基礎となる様々な Systematic Review 研究の演習では、自分の研究テーマに関連した文献を系統的に探求し、日本国外での研究報告、英語文献にも積極的に触れていきます。さらに、院生の看護実践の場におけるエビデンス実装演習を通して、研究と実践の橋渡しに求められる方法論と EBHC を実現するためのリーダーシップを学んでいきます。 現場をエビデンスで改善していけるリーダーや、ガイドライン作成などで求められるエビデンス研究の専門家の育成を目指します。
		急性看護学： クリティカルな状況にある患者・家族の健康問題や倫理問題を探究します。患者の生命の維持・回復、苦痛の緩和、セルフケア能力の回復、QOL の向上を目的とした看護援助技法、家族への支援などを含む専門的な看護を提供できる看護実践能力を育成します。また、クリティカルな状況にある患者・家族への新しい看護援助技法の構築、あるいは看護の質向上に貢献できる知見を見いだすための研究能力を育成します。 がん看護学： がんとともに生きるサバイバーとその家族が最適な健康状態を維持するための課題を見極め、それを解決するための看護実践や保健医療福祉のあり方、チームでの看護の役割を科学的に探究します。 がん看護の基盤となる概念・理論に関する知識や諸研究、がんの病態・診断・治療に関する最新の知見を学修します。また、臨床現場の課題や疑問に関するディスカッションやフィールドワークから、がん看護領域における研究テーマを絞りこみ、自らの力で看護研究を実践する力を養います。
		慢性看護学： 慢性病とともに生きる人とその家族が最適な健康状態を維持するための課題を見極め、それを解決するための看護実践や保健医療福祉のあり方を科学的に探究します。 慢性看護の基盤となる概念・理論に関する知識や諸研究の学修、臨床現場の課題や疑問に関するディスカッションやフィールドワークから、研究テーマを絞りこみ、自らの力で看護研究を実践する力を養います。

看護学専攻	看護学基礎分野	療養支援看護学分野	精神看護学： 精神障がい者は精神疾患と疾患に起因する生活障害を抱え、精神障がい者に対する支援では、入院患者への療養支援から地域社会における生活支援までも含む幅広い専門的支援が求められています。そこでセルフケア理論に基づく包括的アセスメント、教育的介入方法等に関する幅広い知識を身につけ、精神看護学分野の専門家として精神障がい者自身の社会復帰過程への主体的参加を促進する支援において有用な実践能力を育成します。
		家族支援看護学	小児看護学： 子どもとその家族を取り巻いている社会状況や生活を理解し、子どもが示す健康状態から起因する心身の反応をアセスメントする方法を探究します。あわせて慢性疾患などの健康障害を持つ子ども、親、きょうだいが内包している健康問題や課題、あるいは不適切な親子関係や現在の子育てにおける課題を解決するための看護支援について実証的な研究を行います。
		母性看護学	母性看護学： 女性のライフサイクル各期を中心にした健康支援について、疾病中心の医療と看護の観点に留まらず、文化的、歴史的、社会的背景も勘案した健康課題を探究します。また、女性のリプロダクティブ・ヘルス/ライツを根幹に据えて、ヘルスプロモーションや Well-being 等の様々な視点から看護介入モデルを学修し、実践的な研究も行います。
		助産学	助産学： 出産を取り巻く環境の歴史的変遷を概観し、女性のもつ生殖の性とジェンダーについての理解を深めると共に、出産の医学的管理を誘引した諸政策についても探究します。そして女性の多様な性のあり方と価値観を理解し、様々な女性と家族の健康に関する諸問題について、Evidence-Based Health Care (EBHC) を用いた解決方法の基礎的能力を育成します。また国際的な視点を基に、助産学領域の世界的な研究の流れも学修し、実践的な研究を行います。
	生活支援看護学分野	老年看護学	老年看護学： 加齢の変化や疾患・障がいをもつ生活者として高齢者をとらえ、高齢者の健康問題や高齢者をとりまくケアシステムのあり方、倫理的問題についてアセスメントし、高齢者が健康的な生活を維持できるよう、老年看護に必要な概念や理論、健康生活評価方法等を修得し、高度な専門的援助を実践し、また看護方法の研究・開発を行う能力を備えた人材を育成します。
		地域看護学	地域看護学： 地域社会の個人、家族、集団、コミュニティ、組織を対象に、顕在・潜在している健康課題の解決のための支援について探究します。また、地域で生活する人々を対象とした地域看護支援技術の開発と評価方法について実践的な研究を行います。
		在宅看護学	在宅看護学： 在宅看護の基盤となる制度や理論および概念・看護モデルなどを学修します。その上で、在宅療養者および介護家族の健康生活の向上、在宅看護実践の質的改善、介護家族への支援方略、在宅ケアシステムの構築など、在宅看護の知識体系の発展に寄与する知見を探究します。在宅看護領域における臨床疑問や研究課題を明確化し、科学的プロセスを踏まえて研究していく能力を育成します。
	看護学課題研究・高度実践領域 (CNS)	急性・重症患者看護専門看護師分野	急性・重症患者看護専門看護師分野： クリティカルな状況にあり複雑で解決困難な看護問題を持つ個人・家族や集団を対象に、先進医療に対応した高度な看護実践を行うための看護介入方法を理論的かつ実践的に探究する分野です。特に、クリティカルな状況にある人間を総合的にとらえるケアとケアの融合による高度な知識・技術、個人・家族を中心とした治療環境を総合的に管理するために必要な知識を学修するとともに、専門看護師として役割を果たすための実践能力を養います。
		がん看護専門看護師分野	がん看護専門看護師分野： がんとともに生きるサバイバーとその家族が最適な健康状態を維持するための課題を見極め、それを解決するための看護実践や保健医療福祉のあり方、チームでの看護の役割を科学的に探究します。 がん看護の基盤となる概念・理論に関する知識や諸研究、がんの病態・診断・治療に関する最新の知見を学修します。がん看護専門看護師の役割（実践、相談、調整、倫理調整、教育）に関する学習と実習を通して、水準の高い看護ケアを効率よく提供するための卓越した技術と問題解決能力を修得します。また、臨床現場の課題や疑問に関するディスカッションやフィールドワークから、がん看護領域の実践現場に活用できる研究能力を養います。

担当教員の連絡先

事前相談はまず下記の担当教員にアポイントを取った上で実施してください。

	看護学 基礎研究領域	看護学課題研究・ 高度実践領域（CNS）	担当教員	連絡先
分野	特定分野	特定分野		
基盤看護学	基礎看護学		土田 敏恵 鈴木 みゆき 井上 正隆 荻野 待子 三谷 理恵	tsuchida@hyo-med.ac.jp mioka@hyo-med.ac.jp
	看護教育学		土田 敏恵	tsuchida@hyo-med.ac.jp
	看護開発科学		今野 理恵	ri-konno@hyo-med.ac.jp
療養支援看護学	急性看護学	急性・重症患者看護	笹川 寿美	shisami@hyo-med.ac.jp
	がん看護学	がん看護	府川 晃子	fukawa@hyo-med.ac.jp
	慢性看護学		神崎 初美 井上 満代	kanzaki@hyo-med.ac.jp
	精神看護学		藤本 浩一 石田 絵美子	hr-fujimoto@hyo-med.ac.jp
家族支援看護学	小児看護学		石原 あや	a-ishihara@hyo-med.ac.jp
	母性看護学		西村 明子 川内 恵美子	nisimura@hyo-med.ac.jp
	助産学		田村 康子 片田 千尋	ya-tamura@hyo-med.ac.jp
生活支援看護学	老年看護学		細見 明代	hosoa@hyo-med.ac.jp
	地域看護学		廣金 和枝	ka-hirokane@hyo-med.ac.jp
	在宅看護学		堀口 和子 鈴木 千枝	khoriguchi@hyo-med.ac.jp ysuzuki@hyo-med.ac.jp
基礎			加藤 精一 常見 幸 吉田 幸恵	

連絡先等を必ず明記のうえ、メールしてください。

入学後の主たる指導教員は、事前相談時にある程度、決定することになりますが、入学後の課題テーマの最終決定の段階によって、変更することも可能です。

授業科目一覧

看護学研究科看護学専攻(修士課程)

科目区分	授業科目	配当年次	単位数	
			必修	選択
研究科 共通科目	医療統計学特論	1 後		1
	医療倫理学特論	1 前		1
	先進医療支援特論	1 前		1
看護学 共通科目	看護教育論	1 前		2
	看護倫理	1 前		2
	看護理論	1 前		2
	看護管理論	1 後		2
	看護政策論	1 後		2
	コンサルテーション論	1 後		2
	看護研究	1 前		2
	看護研究演習	1 前		1
	システマティックレビュー	1 前		2
	アドバンスト・フィジカルアセスメント	1 前		2
	臨床薬理学・薬物治療特論	1 後		2
	疾病・病態特論	1 前		2
看護学 専門科目	基礎看護学特論	1 前		2
	基礎看護学援助特論	1 後		2
	基礎看護学演習Ⅰ	1 通		2
	基礎看護学演習Ⅱ	1 通		2
	基礎看護学演習Ⅲ	1 通		2
	基礎看護学特別研究	2 通		10
	看護教育学特論	1 前		2
	看護教育学援助特論	1 後		2
	看護教育学演習Ⅰ	1 通		2
	看護教育学演習Ⅱ	1 通		2
	看護教育学演習Ⅲ	1 通		2
	看護教育学特別研究	2 通		10
	看護開発科学特論	1 前		2
	看護開発科学援助特論	1 後		2
	看護開発科学演習Ⅰ	1 通		2
	看護開発科学演習Ⅱ	1 通		2
	看護開発科学演習Ⅲ	1 通		2
	看護開発科学特別研究	2 通		10
	急性病態治療学	1 前		2
	急性看護学特論	1 前		2
	急性看護学援助特論Ⅰ	1 前		2
	急性看護学援助特論Ⅱ	1 後		2
	急性看護学援助特論Ⅲ	1 通		2
	急性看護学演習ⅠA	1 通		2
	急性看護学演習ⅡA	1 通		2
	急性看護学演習ⅢA	2 通		2
	急性看護学演習ⅠB	1 通		2
	急性看護学演習ⅡB	1 通		2
	急性看護学演習ⅢB	2 前		2
	急性看護学実習Ⅰ	1 後		2
	急性看護学実習Ⅱ	2 通		2
	急性看護学実習Ⅲ	2 通		2
	急性看護学実習Ⅳ	2 通		4
	急性看護学特別研究	2 通		10
	急性看護学課題研究	2 通		2
看護学 専門科目	がん病態治療学	1 前		2
	がん看護学特論	1 前		2
	がん看護学援助特論Ⅰ	1 後		2
	がん看護学援助特論Ⅱ	1 後		2
	がん看護学援助特論Ⅲ	2 前		2
	がん看護学演習ⅠA	1 前		2
	がん看護学演習ⅡA	1 後		2
	がん看護学演習ⅠB	1 前		2
	がん看護学演習ⅡB	1 後		2
	がん看護学演習Ⅲ	1 後		2
	がん看護学実習Ⅰ	1 後		2
	がん看護学実習Ⅱ	2 通		2
	がん看護学実習Ⅲ	2 通		2
	がん看護学実習Ⅳ	2 通		2
	がん看護学実習Ⅴ	2 通		2
	がん看護学特別研究	2 通		10
	がん看護学課題研究	2 通		2

科目区分	授業科目	配当年次	単位数	
			必修	選択
看護学 専門科目	慢性看護学特論	1 前		2
	慢性看護学援助特論	1 後		2
	慢性看護学演習Ⅰ	1 通		2
	慢性看護学演習Ⅱ	1 通		2
	慢性看護学演習Ⅲ	1 通		2
	慢性看護学特別研究	2 通		10
	精神看護学特論	1 前		2
	精神看護学援助特論	1 後		2
	精神看護学演習Ⅰ	1 通		2
	精神看護学演習Ⅱ	1 通		2
	精神看護学演習Ⅲ	1 通		2
	精神看護学特別研究	2 通		10
	小児看護学特論	1 前		2
	小児看護学援助特論	1 後		2
	小児看護学演習Ⅰ	1 通		2
	小児看護学演習Ⅱ	1 通		2
	小児看護学演習Ⅲ	1 通		2
	小児看護学特別研究	2 通		10
	母性看護学特論	1 前		2
	母性看護学援助特論	1 後		2
	母性看護学演習Ⅰ	1 通		2
	母性看護学演習Ⅱ	1 通		2
	母性看護学演習Ⅲ	1 通		2
	母性看護学特別研究	2 通		10
	助産学特論	1 前		2
	助産学援助特論	1 後		2
	助産学演習Ⅰ	1 通		2
	助産学演習Ⅱ	1 通		2
	助産学演習Ⅲ	1 通		2
	助産学特別研究	2 通		10
看護学 専門科目	老年看護学特論	1 前		2
	老年看護学援助特論	1 後		2
	老年看護学演習Ⅰ	1 通		2
	老年看護学演習Ⅱ	1 通		2
	老年看護学演習Ⅲ	1 通		2
	老年看護学特別研究	2 通		10
	地域看護学特論	1 前		2
	地域看護学援助特論	1 後		2
	地域看護学演習Ⅰ	1 通		2
	地域看護学演習Ⅱ	1 通		2
	地域看護学演習Ⅲ	1 通		2
	地域看護学特別研究	2 通		10
	在宅看護学特論	1 前		2
	在宅看護学援助特論	1 前		2
	在宅看護学演習Ⅰ	1 通		2
	在宅看護学演習Ⅱ	1 通		2
	在宅看護学演習Ⅲ	1 通		2
	在宅看護学特別研究	2 通		10

医療科学研究科（I期）

（リハビリテーション科学領域）

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

高度な研究能力を有する医療専門職者ならびに高度な実践能力を有する医療専門職者を強く目指す以下のような人材を求めます。

1. 自ら積極的に学び、目標に向かって邁進できる人。
2. 自らの臨床的知識・技能を積極的に高めたいという意欲を有する人。
3. 先駆的・学際的・発展的研究に取り組み、医療科学の発展に寄与する姿勢を有する人。
4. 自らが修得した臨床的知識・技術、発展的知見を臨床実習教育・新人教育を通じて後進へ伝え、専門職業人としての発展に寄与しようとする人。

リハビリテーション科学研究コース

1. リハビリテーション科学領域において、先駆的・学際的・発展的な研究を展開しようとする志向性を有する人。
2. 将来、本領域において研究・教育を牽引していく意欲を有する人。

リハビリテーション科学課題研究コース

1. 自らの臨床的知識・技術を積極的に高めたい人。
2. 本研究科で培った臨床的知識・技術を活用してリハビリテーション医療の向上に貢献しようとする人。

入試との関連

1. 専門科目：各専門領域に関する基礎的な知識を判定する。
2. 外国語：最新の知見を各種論文から読み取るための能力を判定する。
3. 面接：主体的・協調的に研究活動に取り組もうとする姿勢を判定する。

募 集 人 員

8名

出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当する者

- ①大学を卒業した者（入学日前月の末までに卒業見込みである者を含む）
- ②大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者（入学日前月の末までに学位授与見込みである者を含む）
- ③外国において学校教育における16年の課程を修了した者（入学日前月の末までに修了見込みである者を含む）
- ④文部科学大臣が指定した専修学校の専門課程を修了した者（入学日前月の末までに修了見込みである者を含む）
- ⑤文部科学大臣の指定した者
- ⑥研究科において、個別の入学資格審査により、第1号に定める者と同等以上の学力があると認めた者で、入学日前月の末までに22歳に達した者

日程

試験日	2022 年 9 月 24 日（土）（予備日 25 日（日））※2
出願期間	2022 年 9 月 1 日（木）～9 月 9 日（金）
入学資格審査 申請期間 ※1	2022 年 8 月 17 日（水）～8 月 24 日（水）
合格者発表	2022 年 10 月 5 日（水） 13 時
入学手続き期間	2022 年 10 月 6 日（木）～10 月 14 日（金）

※1 出願資格⑥により出願を希望する者は、事前に入学資格審査を受ける必要があります。

ただし、本学（旧 兵庫医療大学を含む）の職業実践力育成プログラム(BP)を修了した者または入学日前月の末までに修了見込みの者については、あらかじめ出願資格があるものと認め、個別の入学資格審査の手続きは不要とします。

※2 台風等の警報・自然災害により試験を実施できない場合は、翌日の日曜日に実施します。

各種書類の提出先

〒650-8530

神戸市中央区港島 1 丁目 3 番地 6

兵庫医科大学（神戸キャンパス） 神戸教学課 大学院係宛

出 願 手 続 き

1 出願期間

2022 年 9 月 1 日（木）～9 月 9 日（金）【必着】

出願期間内に必着するように、郵送または持参してください。

持参の場合には受付時間は土日祝日を除く平日 9：00～17：00 とします。

2 出願書類等

必 要 書 類		摘 要
①	入学願書	本研究科所定の用紙（様式 4）
②	志望理由書	本研究科所定の用紙（様式 5）
③	受験票・名票・ 「振込証明書(大学提出用)」貼付票	本学所定の用紙 上半身、脱帽、正面、3 ヶ月以内に撮影した写真を所定の欄に貼り付けてください。 入学検定料 30,000 円を払込んでください。（出願期間の 2 週間前よりお振込いただけます。） 「振込証明書(大学提出用)」あるいは ATM 利用明細を貼付票に貼り付けてください。インターネットバンキング利用の場合、振込明細を印刷し、出願書類に同封してください。
④	返信用宛名ラベル用紙	本学所定の用紙 3 通分に郵便番号、住所、氏名を記入したもの。 入学試験合格者に対して、入学手続き書類等を送付するために使用します。
⑤	受験票返送用封筒	受験票送付の際に使用します。 定型封筒(長形 3 号)に郵便切手 344 円（速達料金）を貼り、受験票を確実に受け取れる郵便番号・住所・氏名を記入してください。

⑥	成績証明書	最終出身学校の学校長が作成し、※厳封したもので発行日から6ヵ月以内のもの。本学卒業見込者は不要です。
⑦	卒業、修了（見込）証明書	最終出身学校の学校長が作成し、※厳封したもので発行日から6ヵ月以内のもの。本学卒業見込者は不要です。
⑧	学士の学位証明書	学位授与機構から学士の学位を授与された者のみ提出すること。
⑨	出願資格認定書の写し	入学資格審査を経て出願する者のみ提出すること。
⑩	BP 履修証明書の写し	本学（旧 兵庫医療大学を含む）の職業実践力育成プログラム（BP）を修了した者のみ提出すること。

※証明書の厳封について 偽造・複写防止用紙の場合は厳封不要。

4 出願方法

出願書類をとりまとめ、角2の封筒により「書留速達郵便」で送付してください。

「封筒貼付用宛先用紙」（本学所定の用紙）に必要事項を記入の上、封筒の表に貼り付けてください。

5 受験希望分野の担当教員との事前相談

出願者は受験希望分野の担当教員と事前に必ず連絡を取り、修士課程において行いたい内容について相談してください。

その場合、神戸教学課 大学院係（電話 078-304-3014）まで連絡するか、あるいはメールにて教員と直接連絡をとってください。担当教員のメールアドレスは29ページを参照してください。

長期履修制度については担当教員に相談の上、「長期履修申請書」（本学所定の用紙）を出願書類に同封してください。

6 出願上の留意事項

- ・出願書類が不備な場合には、受理しません。
- ・出願書類に虚偽があった場合には、入学後であっても入学を取り消す場合があります。
- ・いったん提出された書類および入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- ・書類が受理されたときは、受験票を速達郵便で送付します。
- ・受験票を受け取ったら、ご自身のものであるか必ず確認してください。
- ・試験日の2日前になっても受験票が届かない場合は、神戸教学課 大学院係（078-304-3014）に電話をして指示を受けてください。

試 験 日

2022 年 9 月 24 日（土）（予備日 25 日（日））※

※台風等の警報・自然災害により試験を実施できない場合は、翌日の日曜日に実施します。

当該日程での試験中止および予備日を適用する場合は、9 月 22 日(木)15 時までに本学ホームページにて通知します。

試 験 会 場

本学（神戸キャンパス）（巻末参照）

選 抜 方 法

学力試験、面接により総合的に判定します。

試 験 科 目	時 間
外国語(英語)	10:00～11:00(60 分)
専 門 科 目	11:30～12:30(60 分)
面 接	13:20～

注 1) 外国語(英語)の試験には、英語の辞書(ただし、電子辞書を除く) 1冊の持ち込みを認めます。

入学資格審査申請

出願資格⑥により出願を希望する者は、出願前に審査が必要なので、次の必要書類を取り揃えて、提出してください。ただし、本学(旧 兵庫医療大学を含む)の職業実践力育成プログラム(BP)を修了した者または入学日前月の末までに修了見込みの者については、あらかじめ出願資格があるものと認め、個別の入学資格審査の手続きは不要とします。

(1) 必要書類

必 要 書 類		摘 要
①	入学資格審査申請書 (臨床活動、研究活動等の業績一覧含む)	本研究科所定の用紙(様式 6)
③	出願資格認定審査結果通知用封筒	定型封筒(長形 3 号)に郵便切手 779 円(書留速達料金)を貼り、郵便番号、住所、氏名を明記したもの。

(2) 受付期間

2022 年 8 月 17 日(水)～8 月 24 日(水)【必着】

申請期間内に必着するように、郵送または持参してください。郵送の場合には、封筒の表に「入学資格審査申請書在中」と朱書きし、必ず書留速達郵便としてください。

持参の場合には、受付時間は土日祝日を除く平日 9:00～17:00 とします。

(3) 認定結果の通知

審査の結果は、下記の日程までに申請者宛に通知します。

2022 年 8 月 30 日(火)

身体的に支障または障がいをする者の出願

身体的に支障または障がいをする入学志願者で、受験上および修学上特別な配慮を希望する者は、原則として、各試験の 1 か月前までに神戸教学課 大学院係(078-304-3014)へご相談ください。なお、専門医の診断書等障がいの程度を示す書類を送付していただく場合があります。

試験当日の注意事項

- ・試験当日は試験開始 15 分前(9 時 45 分)までに必ず入室してください。試験開始後 30 分以上の遅刻は認めません。
- ・受験票を忘れた場合は、受験室に入室する前に受付に申し出て、「仮受験票」の発行手続きをしてください。
- ・受験室内では試験監督者の指示に従ってください。また、不正行為とみなされる態度があった場合は、退室を命じ、全科目を無効とします。
- ・試験時間の途中で退出することはできません。

- ・筆記用具は、HB または B の黒鉛筆（シャープペンシルでも可）とプラスチック消しゴムに限ります。
- ・下敷・定規・コンパス・計算機（電卓など）、および計算・辞書機能などの付いた時計の使用は認めません。
- ・携帯電話や音の出る機器は、受験室に入る前に必ずアラーム設定を解除のうえすべて電源を切り、カバンに収納してください。携帯電話を時計代わりにすることは認めません。
- ・試験会場周辺道路は、全面駐車禁止のため公共の交通機関を利用してください。

合格者発表

2022 年 10 月 5 日（水） 13 時

- ・本学ホームページ上（<https://www.hyo-med.ac.jp/>）に合格者受験番号を掲示します。
- ・学内掲示は行いません。
- ・合格者へは、合格通知書および入学手続き書類を**書留速達郵便**で送付します。
- ・不合格の通知は送付しません。
- ・電話・郵便等による可否の問い合わせには応じません。

入学手続き等

1 入学手続き期間

2022 年 10 月 6 日（木）～10 月 14 日（金）【必着】

2 手続き方法

入学金および授業料（前期分）を、所定の振込用紙で振り込み、入学手続き書類を書留速達郵便で下記あてに送付してください。全ての入学手続きを完了した者には入学許可書を送付します。

3 納付金

- (1) 入 学 金 100,000 円
- (2) 授 業 料 200,000 円（前期分）
- (3) 教育充実費 50,000 円（前期分）

※上記金額以外に学外実習に関する費用を個別に徴収する場合があります。

※本学出身者および、学校法人兵庫医科大学の教職員として通算 5 年以上の勤務実績のある者については、入学金を免除します。

※後期分の授業料 200,000 円および教育充実費 50,000 円は、本学所定の振込用紙により、入学した年の 10 月以降に納付して頂くことになります。

※長期履修制度利用者は、個々に履修年限に応じた金額を通知します。

4 提出書類等

入学手続きに必要な書類やその他詳細については、合格通知書を送付する際にお知らせします。

なお、社会人として病院等に在職したまま就学しようとする者は、所属長の「就学承諾書」（様式自由）の提出が必要となります。

※上記の期限までに入学手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取り扱います。

5 入学辞退をする場合

入学手続を完了した者で入学を辞退する場合、2023 年 3 月 31 日（金）午後 5 時までに本学所定の入学辞退届および入学許可書を添えて提出した者は、入学金を除いた学納金の返還を請求することができます。ただし、一旦提出された入学手続書類は返還しません。上記期限以降に辞退した場合、入学手続書類および納付金は一切返還しません。

教 育 目 的

本学大学院医療科学研究科は、建学の精神に則ると共に、本学リハビリテーション学部の学部教育を基盤として、リハビリテーション科学領域における研究の発展と高度実践専門職者の養成を目指しています。大学院生と教員・指導者とが学修目標を共有し、より高度な臨床実践能力を持つ専門職者の育成と、臨床場面での問題や課題を解決できる研究者の育成を目指しています。

教 育 課 程

医療科学研究科では 2 分野を設置し、それぞれの分野で高度実践専門職者の養成を目指す課題研究コースと研究を主とする科学研究コースを選択することができます。大学院生の志向にあったコースで臨床実践能力の向上、研究能力の向上を目指します。

修士課程 共通科目		選択科目 医療統計学特論、医療倫理学特論、先進医療支援特論
医療科学 専門 基礎科目		必修科目 リハビリテーション科学研究法、リハビリテーション科学トピックス 選択科目 リハビリテーション医学特論、疾病・病態特論、リハビリテーション科学教育論（養成校教育）、リハビリテーション科学教育論（臨床教育）、リハビリテーション科学統計学実践特論、体表解剖学実践特論、物理療法実践特論、バイオメカニクス特論、運動生理学特論、精神作業行動特論、高次脳機能特論、身体系作業学特論、地域作業学特論、高機能広汎性発達障害特論、ウィメンズヘルス特論、鑑別診断学（画像診断・臨床検査）、鑑別診断学（臨床推論）、症例提示法特論、症例検討実践特論、教育学特論
医療科学 分野 専門 科目	病態 運動学 分野	運動器障害 ：運動器疾患を中心とする障害を有した方を対象とした治療的介入の向上に主眼をおく研究領域であり、障害の原因の的確な判断と臨床的推論能力を修得し対象者に適用するとともに、その効果判定をしながら介入内容を変更できる素養を有した人材を育成します。加えて、障害の予防の観点より、健康増進やスポーツ競技者のトレーニング指導等にも係わる人材を育成します。 また、研究を主とする科学研究コースでは、自ら設定したテーマについて、基礎医学や関連領域の知識・技術を用いて研究計画の立案、研究の実施、論文作成を行います。
		内部障害 ：呼吸・循環・代謝機能などの内部障害を有する方を対象とした治療的介入の向上に主眼をおき、病態を的確に捉え、介入の是非の判断やエビデンスに基づいたプランの立案ならびに適切な介入の実施、さらには効果判定ができる素養を有した人材を育成することを目的としています。 また研究では、呼吸・循環機能に関する運動生理学的手法を用いた基礎的研究から、実際の臨床に即した介入効果に関する研究など、幅広い関連領域からテーマを設定し、研究計画の立案・研究の実施、論文作成などの指導を行います。
		神経障害 ：脳血管障害を代表とする神経系に障害を有する方を対象とした治療的介入の向上に主眼をおく研究領域であり、障害像・生活環境に応じた介入判断ができ、効果判定を行いながら介入内容の変更ができる素養を有した人材を育成することを目標としています。 また、最新の医学的介入を理解し、効果的な介入を展開できる素養を培うとともに新たな介入方法の開発、効果判定の手法等について、基礎的・臨床的テーマを設定し、研究計画の立案、研究の実施、論文作成を行います。
	人間活動 科学分野	身体・認知活動 ：日常生活活動・余暇活動・生産活動等のひとの諸活動を、身体機能・認知機能との関連から科学する領域で、障がいに関連する研究のみならず障がい予防や正常機能の探求も含めて、作業・活動の質の向上に直接的あるいは間接的に貢献することを目的とします。関連する評価・治療および作業・活動の本質等について極める経験を通して、ひとの諸活動に関する知見を自ら発展させる能力の基盤を培います。論文作成を目指す科学研究コースでは知見の発展を、課題研究コースでは既存の知見の臨床的活用を目指します。
精神活動 ：精神または発達に障害のある方々を対象にして、心身の働きと仕組み、及び活動や社会参加に関する障害と健康的側面の評価について幅広く学び、治療法や生活支援に寄与する精神活動のリハビリテーション技術を修得する研究領域です。 精神または発達に障害のある方々の健康と生活支援に寄与する精神活動領域のリハビリテーションの実践的研究だけでなく、対象者を包括的に理解して合理的かつ効果的な介入と指導ができる臨床実践家の育成も目指します。		

担当教員の連絡先

事前相談はまず下記の担当教員にアポイントを取った上で実施してください。

分野	専門分野	担当教員	連絡先
病態運動学	運動器障害	川口 浩太郎	kotaro@hyo-med.ac.jp
		坂口 颯	sakaguchi@hyo-med.ac.jp
		塚越 累	tsukagoshi.rui@hyo-med.ac.jp
	内部障害	玉木 彰	a-tamaki@hyo-med.ac.jp
		勝野 朋幸	katsunoa@hyo-med.ac.jp
		松沢 良太	ri-matsuzawa@hyo-med.ac.jp
	神経障害	日高 正巳	hidaka@hyo-med.ac.jp
		森 明子	moakiko@hyo-med.ac.jp
		永井 宏達	nagai-k@hyo-med.ac.jp
		佐久間 香	ka-sakuma@hyo-med.ac.jp
人間活動科学	身体・認知活動	藤岡 宏幸	hfujioka@hyo-med.ac.jp
		平上 尚吾	hiragami@hyo-med.ac.jp
		清水 大輔	da-shimizu@hyo-med.ac.jp
		田中 陽一	yi-tanaka@hyo-med.ac.jp
	精神活動	山田 大豪	tayamada@hyo-med.ac.jp
		松井 徳造	tokuzo_matsui@hyo-med.ac.jp
		有吉 正則	ariyoshi@hyo-med.ac.jp
		土江 伸誉	doe@hyo-med.ac.jp

* 課題研究を中心とした高度実践専門職者の養成を目指す課題研究コースと研究を主とする科学研究コースのどちらのコースを選択するかについては、担当教員とご相談ください。

連絡先等を必ず明記のうえ、メールしてください。

入学後の主たる指導教員は、事前相談時にある程度、決定することになりますが、入学後、課題テーマ最終決定の段階までに変更することも可能です。

職業実践力育成プログラムについて

平成 27 年度より「職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として、実務に関する知識、技術及び技能について体系的に教育を行うプログラム」を『職業実践力育成プログラム』として文部科学大臣が認定しており、本学医療科学研究科課題研究コースは「職業実践力育成プログラム」の認定を受けています。

授業科目一覧

医療科学研究科医療科学専攻（修士課程）

科目区分		授 業 科 目	配当 年次	単位数	
				必修	選択
修士課程 共通科目		医療統計学特論	1 後		1
		医療倫理学特論	1 前		1
		先進医療支援特論	1 前		1
医療科学 専 門 基礎科目		リハビリテーション科学研究法	1 前	1	
		リハビリテーション科学トピックス	1 後	2	
		リハビリテーション医学特論	1 前		1
		疾病・病態特論	1 前		2
		リハビリテーション科学教育論（養成校教育）	2 前		1
		リハビリテーション科学教育論（臨床教育）	2 前		1
		リハビリテーション科学統計学実践特論	2 前		1
		体表解剖学実践特論	1 後		1
		物理療法実践特論	2 前		1
		バイオメカニクス特論	1 後		1
		運動生理学特論	1 前		1
		精神作業行動特論	1 後		1
		高次脳機能特論	1 前		1
		身体系作業学特論	1 後		1
		地域作業学特論	1 後		1
		高機能広汎性発達障害特論	1 前		1
		ウィメンズヘルス特論	1 後		1
		鑑別診断学（画像診断・臨床検査）	1 前		1
		鑑別診断学（臨床推論）	1 後		1
		症例提示法特論	1 前		1
		症例検討実践特論	2 前		1
		教育学特論	1 後		2
医療科学 専門科目	病態運動学分野	運動器障害学特論	1 前		2
		運動器障害学特論演習	1 後～2 通		6
		内部障害学特論	1 前		2
		内部障害学特論演習	1 後～2 通		6
		神経障害学特論	1 前		2
		神経障害学特論演習	1 後～2 通		6
	科学人間活動分野	身体・認知活動学特論	1 前		2
		身体・認知活動学特論演習	1 後～2 通		6
		精神活動学特論	1 前		2
		精神活動学特論演習	1 後～2 通		6
医療科学研究指導科目		リハビリテーション科学課題研究	1～2 通		8
		リハビリテーション科学研究	1～2 通		8

別表 医療科学研究科修了までのスケジュール表(例)

1) 科学研究コース

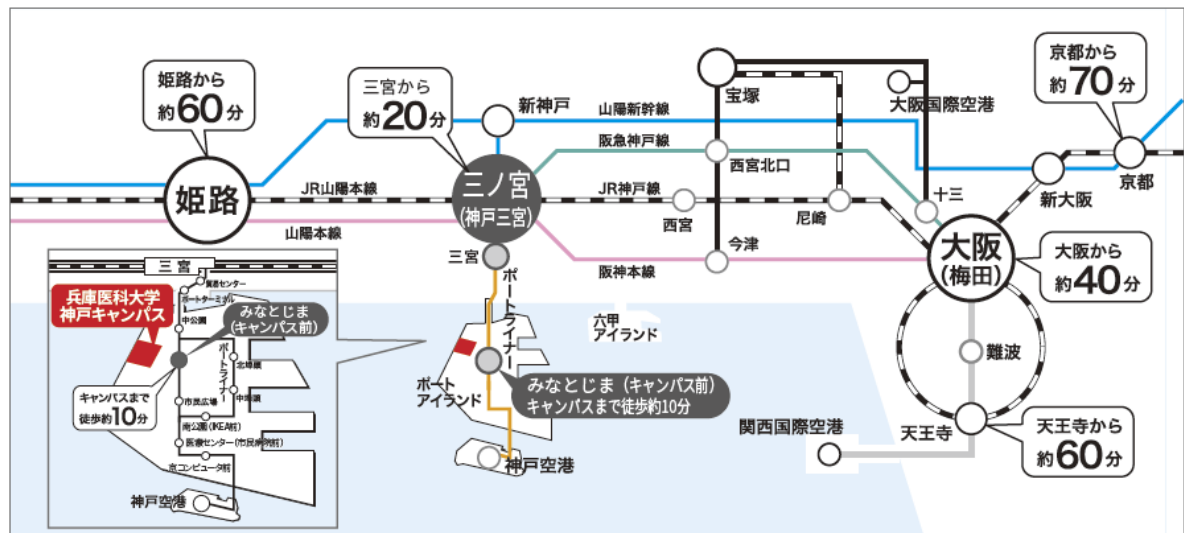
時 期	事 項	
	科目履修関係	研 究 指 導
(1 年次) 4 月 (前期)	入学式 オリエンテーション実施 履修登録 科目履修 修士課程共通科目 医療科学専門基礎科目 医療科学専門科目	履修コース・指導教員の確定 先行研究の分析 予備研究実施 研究計画書の作成・提出 〈研究倫理審査委員会〉 年次研究計画書の作成・提出（指導教員との面談）
7 月		
10 月 (後期)	科目履修 修士課程共通科目 医療科学専門基礎科目 医療科学専門科目	第 1 回 修士論文中間報告会 倫理審査通過
3 月		年次研究結果報告書の作成・提出（指導教員との面談）
(2 年次) 4 月 (前期)	科目履修 医療科学専門基礎科目 医療科学専門科目	年次研究計画書の作成・提出（指導教員との面談） 研究遂行 (データ収集) (データ解析) 適宜、指導教員による指導
7 月		第 2 回 修士論文中間報告会
10 月 (後期)	科目履修 医療科学専門科目 (演習)	(データ追加収集・解析) 修士論文執筆
12 月		修士論文提出
1 月		修士論文審査・口頭試問
2 月		修士論文発表会
3 月	修了	年次研究結果報告書の作成・提出（指導教員との面談）

2) 課題研究コース

時 期	事 項																																											
	科目履修関係	研 究 指 導																																										
(1 年次) 4 月 (前期)	入学式 オリエンテーション実施 履修登録 科目履修 修士課程共通科目 医療科学専門基礎科目 医療科学専門科目	履修コース・指導教員の確定 臨床課題の決定 課題に応じた文献の蓄積と分類 エビデンステーブルの作成 課題テーマ <table><tr><th>著 者 名</th><th>対 象</th><th>介入条件</th><th>比較項目</th><th>結 果</th><th>エビデンスレベル</th><th>出 典</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 図 エビデンステーブルの様式 (例)	著 者 名	対 象	介入条件	比較項目	結 果	エビデンスレベル	出 典																																			
著 者 名	対 象	介入条件	比較項目	結 果	エビデンスレベル	出 典																																						
7 月		年次研究計画書の作成・提出 (指導教員との面談)																																										
10 月 (後期)	科目履修 修士課程共通科目 医療科学専門基礎科目 医療科学専門科目	第 1 回 修士論文中間報告会 臨床課題に応じた臨床研修計画の立案 事例検討の蓄積 臨床現場での研修活動 (課題テーマに応じた施設・期間を設定)																																										
3 月		年次研究結果報告書の作成・提出 (指導教員との面談)																																										
(2 年次) 4 月 (前期)	科目履修 医療科学専門基礎科目 医療科学専門科目	年次研究計画書の作成・提出 (指導教員との面談) (臨床研修継続) 適宜、指導教員による指導																																										
7 月		第 2 回 修士論文中間報告会 ※ケースカンファレンスにて Clinical Reasoning のプレゼンテーション																																										
10 月 (後期)	科目履修 医療科学専門科目 (演習)	(臨床研修継続) 修士論文執筆																																										
12 月		修士論文提出																																										
1 月		修士論文審査・口頭試問																																										
2 月		年次研究結果報告書の作成・提出 (指導教員との面談)																																										
3 月	修了	修士論文発表会																																										

試験会場アクセス

本学へのアクセス



京都	JR東海道本線	約50分	三ノ宮(三宮)	ポートライナー	約9分	みなとじま(キャンパス前)	徒歩	約10分	兵庫医科大学 神戸キャンパス
大阪	JR東海道本線	約20分	三ノ宮(三宮)	ポートライナー	約9分	みなとじま(キャンパス前)	徒歩	約10分	兵庫医科大学 神戸キャンパス
明石	JR東海道・山陽本線	約15分	三ノ宮(三宮)	ポートライナー	約9分	みなとじま(キャンパス前)	徒歩	約10分	兵庫医科大学 神戸キャンパス
姫路	JR東海道・山陽本線	約40分	三ノ宮(三宮)	ポートライナー	約9分	みなとじま(キャンパス前)	徒歩	約10分	兵庫医科大学 神戸キャンパス
神戸	神姫バス(直通)	約15分	三ノ宮(三宮)	ポートライナー	約9分	みなとじま(キャンパス前)	徒歩	約10分	兵庫医科大学 神戸キャンパス

【三宮からのアクセス】

- ポートライナー「三宮」駅より「みなとじま(キャンパス前)」駅まで約9分、駅から大学まで徒歩約10分(ポートライナーは行き先問わず「みなとじま(キャンパス前)」に停車)
- 神姫バス「ポートアイランド線三宮バス停」から「ポートアイランド線三宮バス停」に乗り約12分、ポートアイランド線三宮バス停下車すぐ

【神戸からのアクセス】

- 神姫バス「神戸駅南口」から「ポートアイランド線三宮バス停」に乗り約15分、ポートアイランド線三宮バス停下車すぐ

■周辺案内図

